



## 提供価値

高速大容量

低遅延

多数端末接続

実証実験/PoC段階

- 活魚取引のプラットフォームICT化により市場の高付加価値化を実現
- 水産×ドコモのコラボレーションにより5G時代の自動事例を創出し、産地と小売・消費者が「WinWin」となるような六次産業を牽引
- MEC・ドコモクラウドを利用した画像認識AIによる魚種・サイズ判定
- 5Gを活かした、高精細映像の即時配信・多拠点接続

## 概要

- 活魚流通シーンにおいて、魚体と漁師の負担を軽減するために漁場近辺に水槽・生け簀設備を設置している。これらの水槽設備を、遠方（内地の市場など）から監視・管理したいというニーズをとらえ、本ソリューションの構築を進めている
- ネットワークカメラを水中・施設内に設置。5Gによる映像伝送を行うことで水槽内の生体の状態、作業状況をリアルタイムかつ正確に閲覧可能に
- IoTセンサを設置し、水温・塩分/溶存酸素濃度等、設備管理を容易に
- ドコモクラウド内にビッグデータ基盤を構築。流通魚種の各種データを収集することで、魚種判定・状態判定の（教師）データセット構築を支援
- 将来的に魚種/サイズ判定、市場流通量からの需要量予測をすることで仕切り（価格決め）自動化を進め、「toB」向け取引プラットフォームとする

## コラボレーションパートナー

株式会社クラハシは、広島県福山市にて水産卸売業を営んでいる。地場の漁師から直に仕入れ、小売店に直接卸す、従来”大卸””仲卸”と二つの役割に分かれていた鮮魚流通を一貫して行っている。近年の取り組みとしては活魚の先進維持技術の共同研究や養殖業への参入など。本ソリューションにおいては実証実験向けフィールド提供等、全面的に協力いただいている。

